

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	来客数の動き	・今月は葬儀依頼が多い。全てが寺社を呼ばずに行う「お別れの会」である。
	○	一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・夏物商材のエアコンや冷蔵庫の動きが、大分出てきている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・買上点数の増加とレジャーや観光関連の客が増えたように感じている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・土日の来客数が増えてきている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、客の動きも活発になってきている。新型車効果もあり、新車受注は増えている。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・東京からなのか、首都圏の緊急事態宣言が緩和されたタイミングで、宿泊予約が増えてきている。久しぶりに常連顧客の顔も見られる。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・数か月前と比べると国内観光客は戻りつつあるが、インバウンドの分は補えていない。新型コロナウイルス流行前と比較すると5分の1程度の来客数と、かなり低調である。
	○	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・別荘を求めてやって来る見学者数は、安定している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・梅雨の時期は1年のうちでも閑散期に当たるが、近隣都府県の外出制限もあり、期待できない。
	□	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・季節商材の動きが多少出てきてはいるが、他の商材の動きは鈍い。新型コロナウイルス禍で、娯楽に使わないであろう出費が、物品の消費意欲に向けてほしいところである。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数は前年を上回っているものの、1品単価がその分下がっている。結果的に客単価が前年を下回っている状況である。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数の影響で、やや来客数が減っている。ただし、その分、客単価は若干伸びているものの、全体の販売量の動きは余り良くなく、やや厳しい状況が続いている。ずっと、若干減っている程度であり、大きく影響するほどまでには至っていない。
	□	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種率がまだ低く、人の出が悪い。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・当店の場合、時間帯による客の来店が若干変わってきている気がする。周りの様子を見ても、特に、大きく生活が変わったような雰囲気はなく、当店が現状なぜこうなっているのか、今一つ分からない。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・前月と変わらない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年は特別定額給付金効果もあり、売上が回復していたが、今年は非常に厳しい状況となっている。
	□	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・今月に入り、来客数は前年に比べて大幅に減っているものの、購買客単価は伸びている状況のため、横ばい傾向の変わらせずと判断している。
	□	スナック（経営者）	来客数の動き	・ずっとどん底のまま変わらない。今より下はない。「酒を飲むな」というなら、お金を配ってくれないと駄目だと思う。多分、当店も半年以上は持たない。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・県としては感染状況が落ち着いてきているが、客の様子は以前の感染が拡大しているときとさほど変わらない。感染状況が落ち着いていても、今度はワクチン接種をするまでは外出は控える、という雰囲気になっただけで、ほぼ同じ状況である。

□	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・レストラン部門の営業だが、ランチに関しては、そこそこ客が入っており、3か月前と変わらない。ただし、夜の営業は、来客数も少なく、アルコールが全く出ていない分、売上が減少している。これも3か月前と全く同じである。	
□	旅行代理店(副 支店長)	販売量の動き	・緊急事態宣言の延長により旅行者の動きがなく、販売量の増加がみえない。	
□	通信会社(経営 者)	お客様の様子	・相変わらず、新規加入は低調である。	
□	通信会社(社 員)	販売量の動き	・時期的な要因もあり、動きが少なく強調材料はない。東京オリンピック熱も今一つのようで、4K放送などへの問合せも少ない。	
▲	商店街(代表 者)	来客数の動き	・平静を保っていた当地の新型コロナウイルスの感染者数も、ここにきてクラスターの発生もあって急増し、再び気持ちを不安にさせている。当店の顧客である中高年層は、ワクチン接種に一生懸命で、買物どころではない。相変わらず、人通りは途絶えたままである。	
▲	スーパー(経営 者)	来客数の動き	・前年の巣籠り状態と以前の買物の、中間のようにみえる。	
▲	スーパー(経営 者)	来客数の動き	・6月は前年比で売上は2%減、来客数は4%減となっている。前々年比では売上が35%減、来客数は17%減と、決算も終わったが、周辺でイベントが行われないうので赤字である。このままだと、2年後には借入れをしないと営業が続けられない。かなりきつい。	
▲	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・今まで、新型コロナウイルスの感染者を抑えていたが、今月に入って感染者が急増した影響もあり、車両販売に関しては、客からの問合せが少なく低迷している。車検や一般整備は良くも悪くもなく、横ばい状態である。	
▲	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・当地域では新型コロナウイルスの感染拡大は収まってきているものの、近隣地域ではクラスターの発生、変異株による感染拡大が収まらない。ワクチン接種の遅れが客足の鈍さを表している。	
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・少しずつ良くなっていて、今月は前年比110%くらいになっているが、前々年に比べると、まだまだである。	
×	一般小売店 [薬](経営 者)	販売量の動き	・客が少なくなって、めっきり売上も落ちている。	
×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・前年より一層ひどい状況で、人通りが全くない。	
×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・毎回同じ回答になるが、新型コロナウイルスの影響とは言いたくないが、とにかく営業は悪化している。来客数の動きと回答したが、選択肢全てが当てはまる気がする。何か良い方法はないだろうか。	
×	観光型旅館(経 営者)	販売量の動き	・3月頃は、6月には新型コロナウイルスの第3波の影響もなくなって、人の動きもかなり戻ってきているだろうと予想していた。まさかこの3か月間で、感染拡大の第4波が来て、いまだに旅行をする雰囲気になっていないとは思わなかった。旅館は予約で動いているため、6月20日までの緊急事態宣言発出中は、予約が入ってこない。現在の宿泊客は大変少ない状態である。	
×	その他レジャー 施設[ボウリン グ場](経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況によって客足は敏感に反応する。近隣でクラスターが発生した影響なのか、一般客の利用が極端に減っている。団体利用は依然として全くなく、ワクチン接種もなかなか進まず、良い方向へ向かうとは考えにくい。	
×	その他サービス [貸切バス] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの変異株で、更なる自粛が行われている。	
×	設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・今まで抱えていた仕事も落ち着いてきていることに加え、新規の依頼も非常に少ない。	
企業	◎	*	*	*

動向 関連  (甲信越)	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量はやや増えている。
	□	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・いまだに飲食店からの注文は半分で、回復していない。
	□	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は解けたものの、相変わらず飲食関係からの需要は少なく、工場見学者も激減しており、大変苦戦を強いられている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先から受注が全くない。
	□	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月20日の緊急事態宣言解除までは、首都圏や都市部のデパート、路面店の宝飾店は表立ってのイベントができずほぼ休業状態であった。一方、郊外の宝飾店では来客数は少ないものの、来店顧客の購買単価は上がっていることから、前年並みを確保している。新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、これまで我慢していた客が戻ってくる可能性が高い。接種後の景気回復を見込んで、展示会の計画も順次増えている。ただ、東京オリンピック後に再度感染が拡大すれば、また、景気回復に水を差す事態になる。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月と同じ傾向にあるが、ここに来て、木材、資材の値上がり激しく、納入も遅い。景気に与える影響が心配である。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の景況感は、新型コロナウイルス以前の水準に近づいているが、非製造業は観光産業を中心に、厳しい状況に変化はなく、零細企業ではかなり深刻な影響が生じている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が高い欧米の景気動向は良くなってきていると感じるが、国内では、感染者数が増加してきており、厳しい状況には変わりはない。
	□	新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・高齢者への新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、少しずつ、人の動きも出てきている。
	▲	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月は販売目標が低く設定されているものの、今のところ達成は難しい。また、市場概況は前年比でわずかに良化しているが、当社では前年割れの状況である。
×	*	*	*	
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・業者向けの卸売業に改善の動きがある。製造業への派遣求人が安定して増加傾向にある。
	□	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・相変わらずの採用条件のため、慎重に人選している。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・業種によっては人手不足が続き、募集広告を掲載してもマンネリ化で応募者は少ない。周辺の一部の製造業では正社員の募集広告が微増してきている。
	▲	—	—	—
×	—	—	—	